

和歌山県の地震

令和3年10月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 4

2. 地震一口メモ

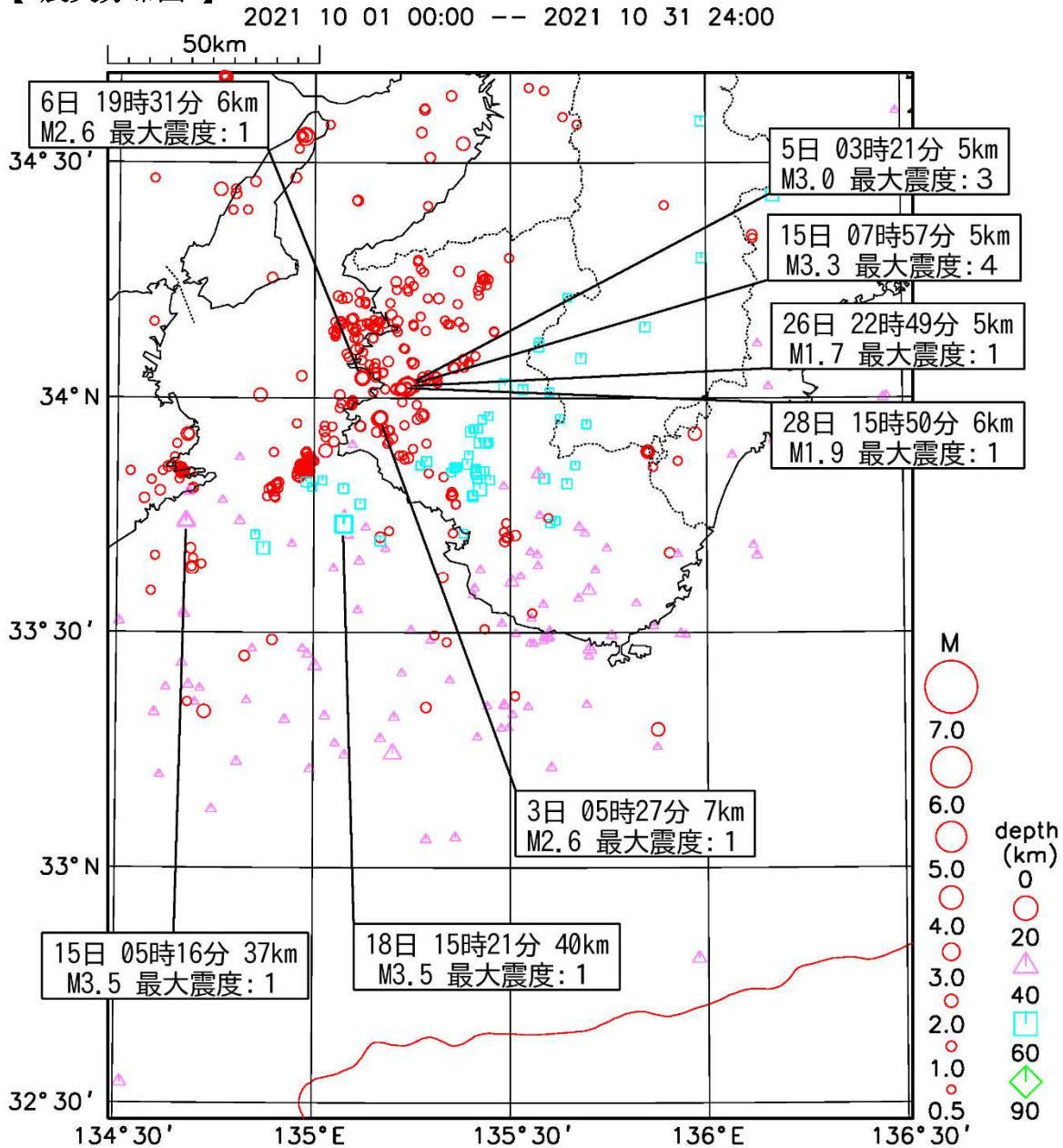
推計震度分布図	・・・・・・・・ 7
---------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】

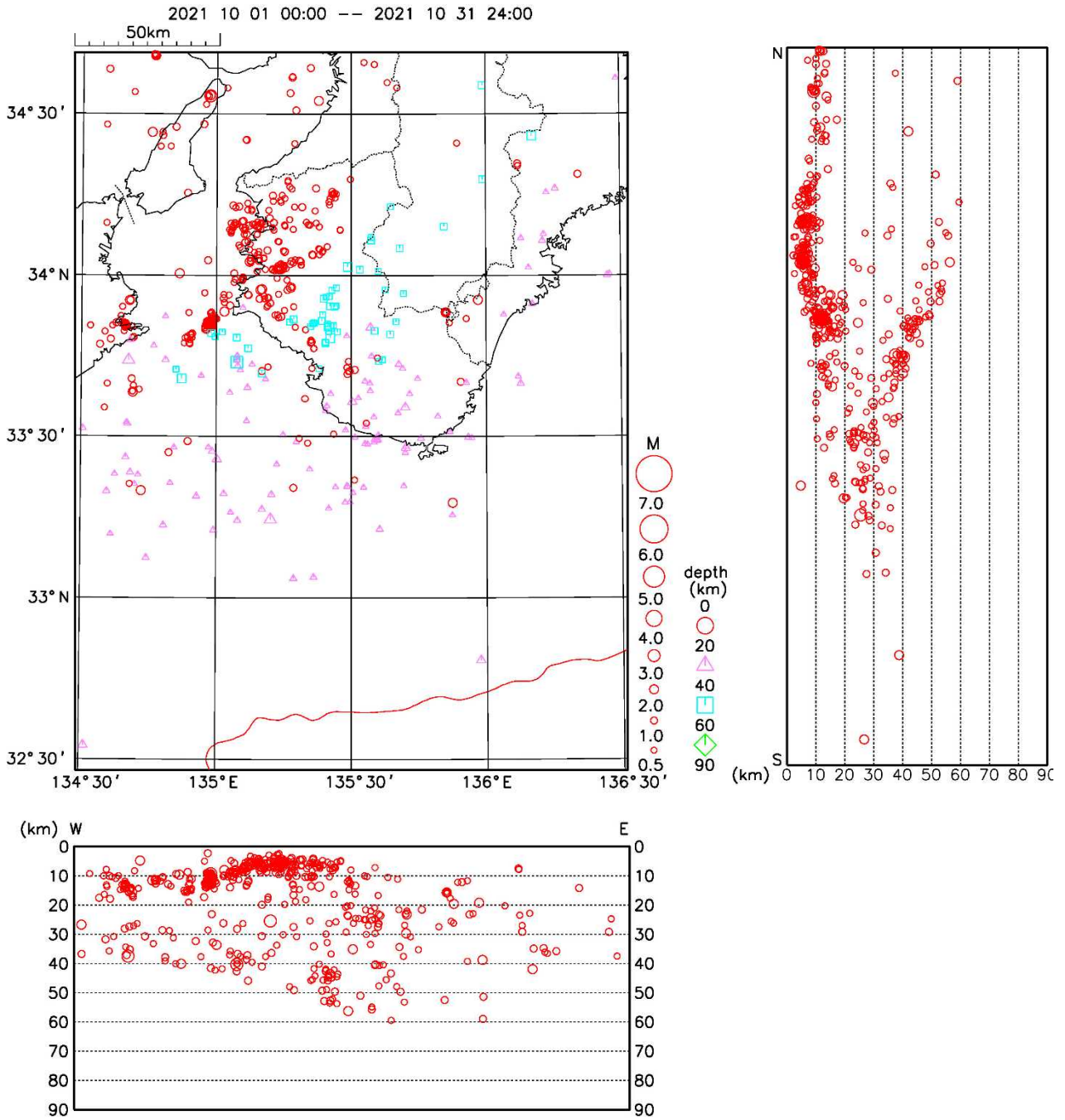


【概況】

10月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は36回（前月は30回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、15日05時16分 紀伊水道の地震（深さ37km、M3.5）及び18日15時21分 紀伊水道の地震（深さ40km、M3.5）でした。これらの地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

10月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、9回（前月10回）でした。

【 断面図 】



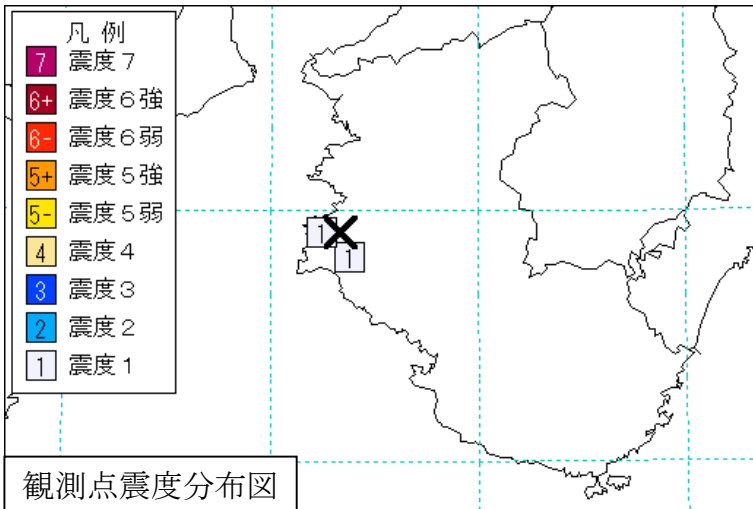
【和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧】

発震時（年月日時分） 各地の震度（和歌山県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2021年10月03日05時27分 和歌山県 震度 1：由良町里*、日高川町土生*	和歌山県北部	33° 57.4' N	135° 10.1' E	7km	M2.6
2021年10月05日03時21分 和歌山県 震度 3：湯浅町青木* 震度 1：有田市初島町*、由良町里*、有田川町下津野*、有田川町中井原*	和歌山県北部	34° 01.4' N	135° 14.1' E	5km	M3.0
2021年10月06日19時31分 和歌山県 震度 1：海南市下津*、有田市箕島、有田市初島町*、湯浅町青木*、由良町里* 有田川町下津野*	紀伊水道	34° 02.5' N	135° 07.3' E	6km	M2.6
2021年10月15日05時16分 和歌山県 震度 1：御坊市菌、日高川町土生*	紀伊水道	33° 44.2' N	134° 40.5' E	37km	M3.5
2021年10月15日07時57分 和歌山県 震度 4：湯浅町青木* 震度 2：有田川町下津野* 震度 1：海南市下津*、有田市箕島、有田市初島町*、御坊市菌、和歌山日高町高家* 由良町里*、日高川町土生*、日高川町高津尾*、日高川町川原河* 紀美野町下佐々*、有田川町中井原*	和歌山県北部	34° 01.4' N	135° 14.2' E	5km	M3.3
2021年10月18日15時21分 和歌山県 震度 1：御坊市菌、湯浅町青木*、みなべ町芝*、日高川町土生*、田辺市中辺路町近露 田辺市中屋敷町*、白浜町日置*	紀伊水道	33° 43.9' N	135° 04.5' E	40km	M3.5
2021年10月21日17時36分 和歌山県 震度 1：岩出市西野*	東海道南方沖	32° 10.8' N	138° 27.0' E	356km	M5.6
2021年10月26日22時49分 和歌山県 震度 1：湯浅町青木*	和歌山県北部	34° 01.3' N	135° 14.1' E	5km	M1.7
2021年10月28日15時50分 和歌山県 震度 1：湯浅町青木*	和歌山県北部	34° 01.2' N	135° 13.2' E	6km	M1.9

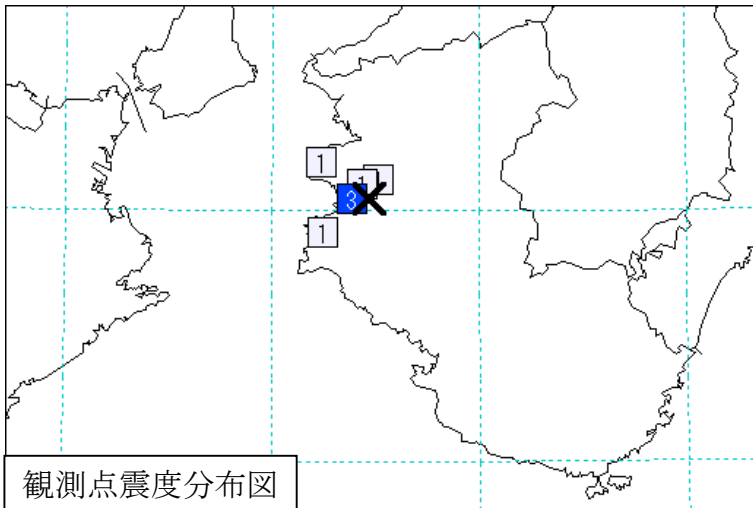
名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【震度分布図（図中の×は震央）】

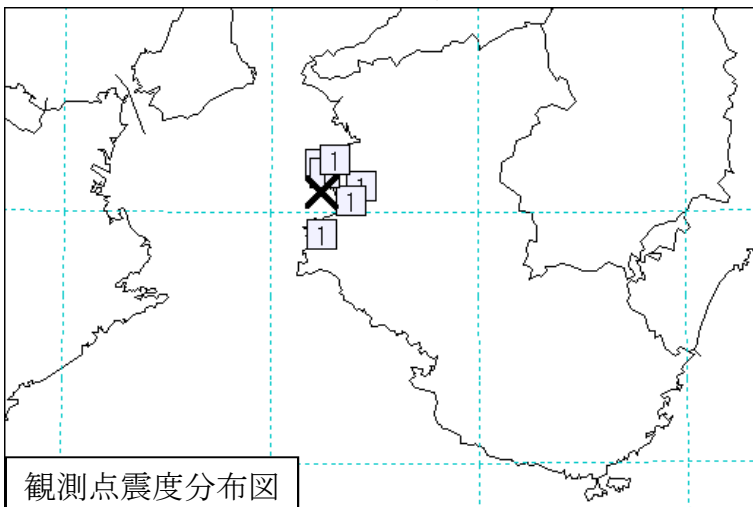
2021年10月03日05時27分 和歌山県北部の地震（深さ7km、M2.6）



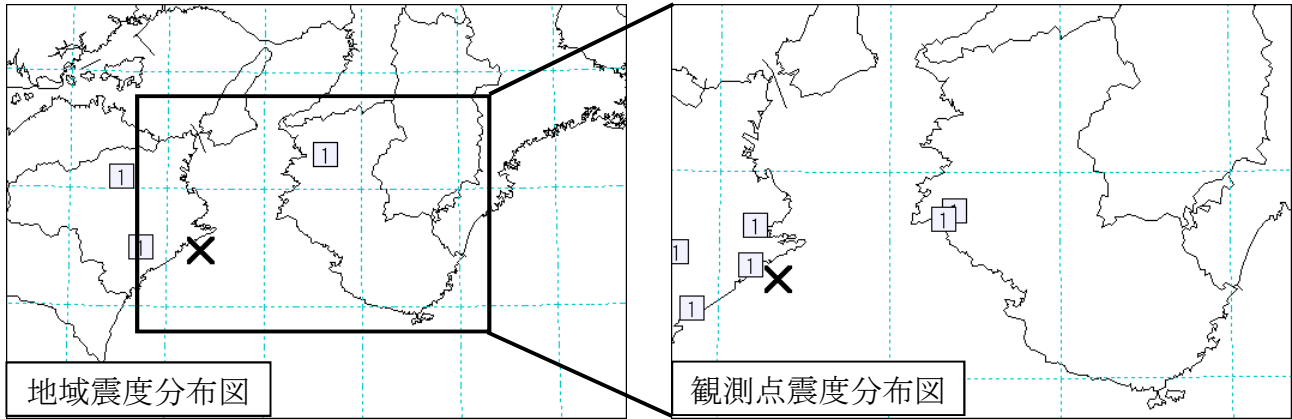
2021年10月05日03時21分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M3.0）



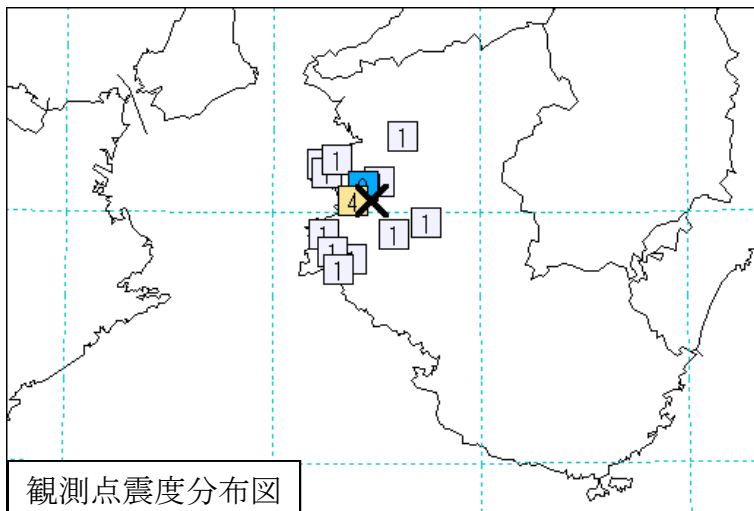
2021年10月06日19時31分 紀伊水道の地震（深さ6km、M2.6）



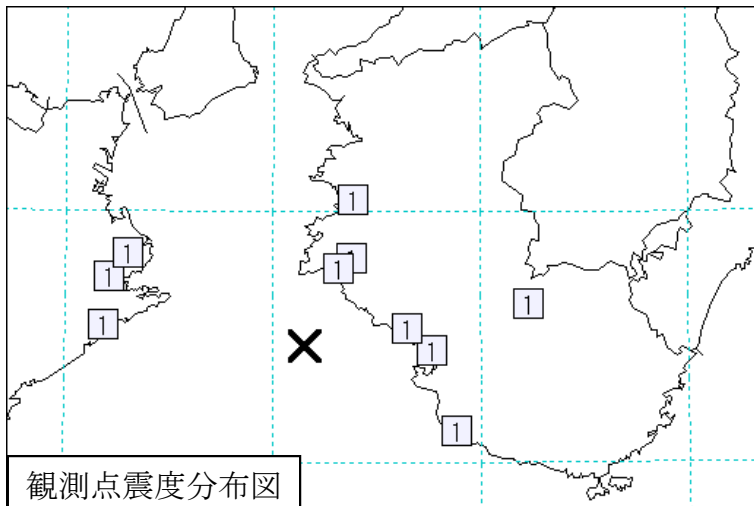
2021年10月15日05時16分 紀伊水道の地震（深さ37km、M3.5）



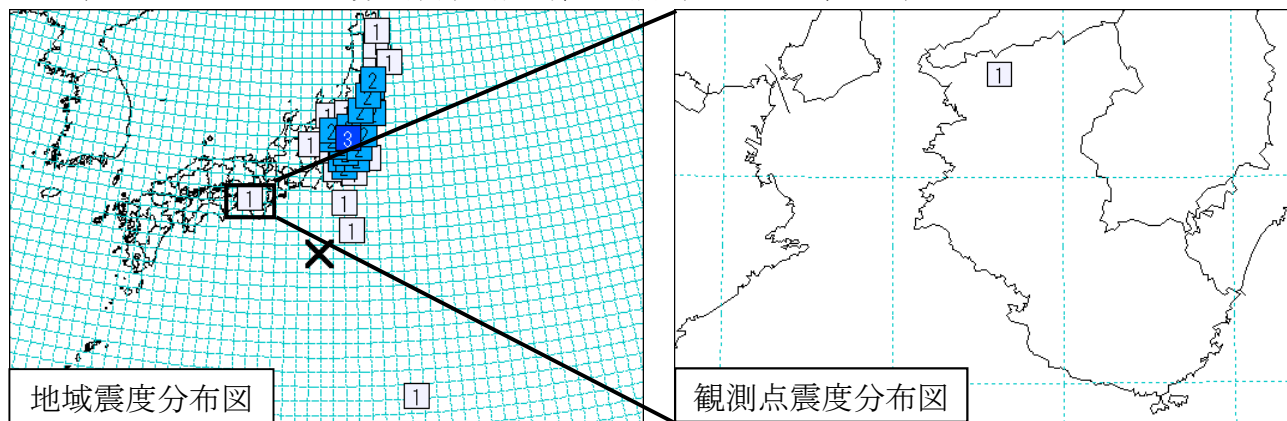
2021年10月15日07時57分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M3.3）



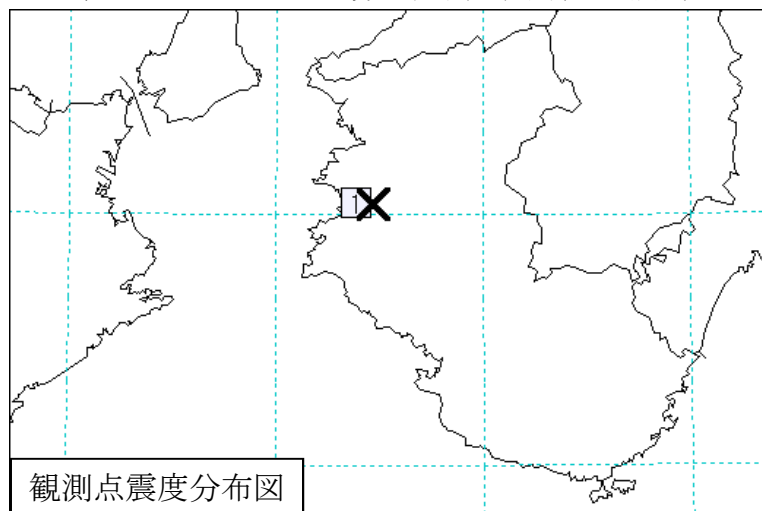
2021年10月18日15時21分 紀伊水道の地震（深さ40km、M3.5）



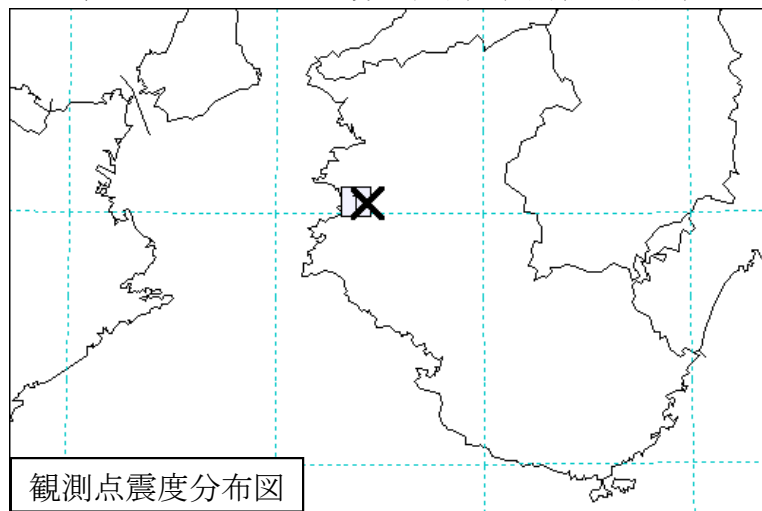
2021年10月21日17時36分 東海道南方沖の地震（深さ356km、M5.6）



2021年10月26日22時49分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M1.7）



2021年10月28日15時50分 和歌山県北部の地震（深さ6km、M1.9）



2. 地震一口メモ

推計震度分布図

◎推計震度分布図とは？

推計震度分布図は、強い揺れを観測した領域の広がり把握するための図情報です。

震度計で観測された震度をもとに、地表付近の地盤の増幅度（地表付近における揺れの増幅を示す指標）を使用して1km四方の格子間隔で震度を推計し、震度計のない場所も含めて震度を面的に表現したものです。

◎発表条件や利用方法等

原則として震度5弱以上を観測する地震が発生した場合に、震度4以上の地域を表した図情報を提供します。

ただし、震度5弱以上を観測していても、強い揺れの範囲に十分な広がりが見られない場合などは提供しないこともあります。

また、推計された震度の値は、場合によって1階級程度異なることがあります。

このため、個々の格子の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合やその形状に着目して利用してください。

推計震度分布図は、地震が発生してから30分後くらいに発表される地震解説資料（速報版）に掲載するほか、気象庁ホームページの「気象庁ホーム>防災情報>推計震度分布図」にも掲載します（https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#9/35.731/139.739/&contents=estimated_intensity_map）。

◎実際の事例

「2011年7月5日の和歌山県北部の地震（深さ7km、M5.5、最大震度5強）」の例を見てみましょう。左下が震度分布図、右下が推計震度分布図です。

推計震度分布図からは、日高川町から有田市にかけて震度5弱以上の領域が見られ、強い揺れの広がり把握することができます。

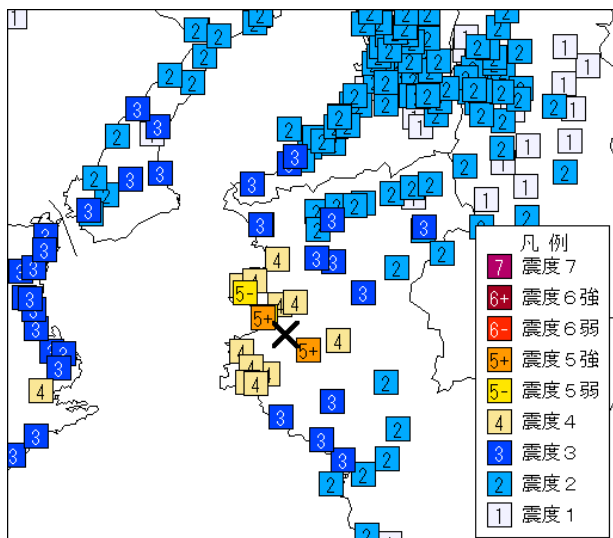


図1 震度分布図

(2011年7月5日 和歌山県北部の地震)

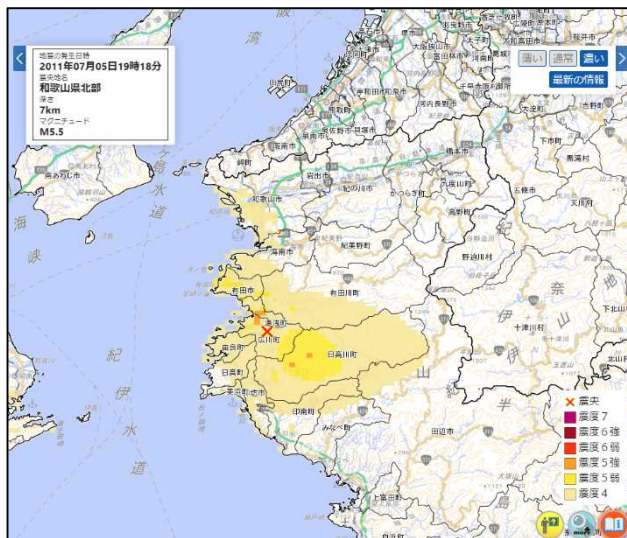


図2 推計震度分布図

(2011年7月5日 和歌山県北部の地震)